



北海道遺産・北見市指定文化財

ピアソン記念館

第119号

(隔月刊)

発行：2024.12.10

(令和6年12月10日)

発行人：中山 一夫 (理事長) 編集人：伊藤 悟 (副理事長)

NPO 法人ピアソン会事務局
(事務局長 伊藤 悟)
〒090-0036 北見市幸町7丁目4番28号
ピアソン記念館内
Tel. FAX 0157-31-1215
午前9:30～午後4:30
e-mail / pierson@yacht.ocn.ne.jp



会報のバックナンバー等は、左のQRコードホームページで読むことができます。

ピアソン便り

ピアソンの故郷、エリザベス市へ！

ピアソン会ハープ部会長 長南幸子

北見市・エリザベス市姉妹都市提携55周年記念訪問団にNPO法人ピアソン会の派遣で、11月11日から16日の日程で「エリザベス市の多様性」を大いに学び、交流を一層深める貴重な機会を得て来ました

『110年前、ピアソン夫妻がまたた友好の種が現代に実を結ぶ』

2019年の50周年記念訪問団に続き、思いがけず今回二度目の訪問。前回の使命は「宣教師ピアソン夫妻」の15年間の野付牛・北見滞在中に、夫妻が遺した著書や著作論文を電子書籍化したDVDと、日本での足跡を記した銘板プレートをエリザベス市図書館にお届けすることでした。

今回は、55周年の交流事業で7月に開催したグリーンコンサートで歓迎した演奏団体との大型記念写真をお届けするとともに、ピアソン会の活動を幅広くPRするという大きな任務に取組みました。

訪問先は、

- ☆エリザベス市役所・市議会
- ☆シロアムホープ長老派教会
- ☆トリニダス病院
- ☆ライオンズクラブ会議



【写真】訪問団でボルウェッジ市長室を訪問。
ボルウェッジ市長左横に武田北見市副市長。

☆リバイティ・スクエア高齢者センター

☆クラウンドワーク記念祝賀会

☆ピアソン・ミントガーデン見学

☆市内幼稚園・学校見学、等

さまざまな施設を巡りましたが、まさにアメリカ合衆国の象徴のようなエリザベス市は多国籍移民が協力して築いた都市です。訪問先

には英語ではなくラテン語を中心に会話する人々やメキシコ、ポルトガル、ヒスパニック、南米ペルーなど食事や習慣も異なる中で生活している様子も見せていただきました。エネルギーギッシュなエリザベス市民の皆さんの熱い厚い歓迎に心から感謝の意を込めて報告をします。

☆その大きな舞台のひとつが、11月13日開催された「クラウンドワーク記念祝賀会」。今年7月に来北されたエリザベス商工会議所ジュニア・コスタ会

れ、ご自身の祖父母との園芸体験からこんにちのクラウンドワーク事業への取組みに北見市やピアソン会と深い関りがあることなど語っていただきました。祝賀会では、ボルウェッジ市長から「北見市NPO法人ピアソン会」へピアソン夫人のガーデニングへの愛情に対する特別表彰として紹介されましたが、実はかなりサプライズな要素もありました。

今回、訪問先に関係のある参加団体がそれぞれ挨拶をする場面があり、当ピアソン会に託された事前情報は祝賀会名称、会場、ドレスコード・セミナー。詳細は確認中とのことで、準備のご挨拶には「アイダ・ベック・ピアソン夫人のガーデニングへのエピソード」を加えることでした。



ピアソン会へ特別表彰紹介のボルウェッジ市長



受賞の感謝を伝えるピアソン会長南ハーブ部会長

さて、どんなお話をしたもののか。日本を発つ前、吉田邦子元理事長がピアソン会出版の「六月の北見路」を紹介してくださり、それを元にアイダ夫人の草花に寄せる愛情を皆様にお伝えしてスピーチの大役を果たすことができました。

「ピアソン夫人のガーデンニングへの愛情に対する特別表彰スピーチ」

ご来場の皆様、こんばんは。北見市・エリザベス市姉妹都市提携55周年記念事業北見市訪問団NP O 法人ピアソン会ハーブ部会長の長南幸子と申します。本日は、グラウンドワーク記念祝賀会にご参加の皆様とお会いすることができ

ましたこと、たいへん嬉しく思いますとともに、このような心温まるおもてなしに心から感謝を申し上げます。

さて、エリザベス市と北見市のご縁は、さかのぼること110年前、ピアソン夫妻が野付牛・北見に布教活動の拠点をさだめた

1914年から1928年の15年間、開拓期の地域住民にとって精神的・道徳的支えとなつて蒔いた友好の種が、現代に実を結んでいます。とりわけアイダ・ベック・ピアソン夫人は、北海道の各地と野付牛・北見の間を馬に乗り布教活動に取り組みましたが、その道すがらさまざまな野の草花を見つけては夫妻の書簡・レポートに書き記していました。ピアソン会が翻訳出版した「六月の北見路」には実に40種類以上の草花のことを書いています。たとえばスミレやスズラン、ハッカなど。アイダ夫人の草花に寄せる溢れるほどの愛情や好奇心が伝わってきます。

現在、ピアソン会ではハーブ部会を設けて8年になります。記念館の内装やお庭をピアソン夫妻が生活した当時に再現しようと、お花が大好きな仲間が集まって、リース、フラワーキャンドル、ハーブの押し花などを作つては館内に飾っています。特にクリスマスツリーやリースは記念館のお庭で育

つた垣根のヒバやオニグルミなどを使って創作し、ツリーの飾りはピアソン学園北見幼稚園の園児さんたちと一緒に作つて飾りつけをします。アイダ夫人が子どもたちと一緒に迎えたであろうクリスマスをお私たちも同じ讃美歌を歌いながらお迎えしています。

このたびの姉妹都市提携55周年をきっかけとして、両市の市民同士の交流がますます発展して行くことを強く期待するとともに、ピアソン夫妻が蒔いた友好の種がしっかりと実を結び、次の世代に受け継がれていきますよう心からご祈念を申し上げます、ご挨拶といたします。本日は誠にありがとうございます。

☆11月14日
グラウンドワーク事業「ピアソンミントガーデンを見学」

*ピアソンミントガーデンについて

ピアソンミントガーデンは、北見市とエリザベス市の友好・姉妹都市提携55周年を記念して、商工会議所が場所を用意して作りまし

た。主にミントやラズベリーを中心に栽培。活動を紹介する記念パネルも準備していただき、記念祝賀会会場にも飾られ参加者の関心と呼んでいました。

*マイクロファームの運営について



ハッカ記念館の写真でミントガーデン紹介

近年、エリザベス市ではマイクロファームという自然農法を用いながら生産性が高く、土地効率の良い農業システムに取り組んでいます。耕作面積は5エーカー未満。作物収益は年間1000ドル。環境教育にも貢献しています。

エリザベス市の土地に、事業は「グラウンドワーク」という団体が行っています。そのひとつが「ファーム教育」でニュージャージー州の環境保全予算によってこの庭園を借りています。例えば「グリーンルーフ（緑の屋根）」「マイクロファーム」など、来園者がいろいろな取り組みを見ることができ

*その他の取り組みでは

パンピングハングのように支柱で栽培する方法や蜂箱養蜂は1854年からの飼育スタイルで、これからの越冬には砂糖水を与えています。都市部でガーデニング

に取組む意味は、悪化する化学物質汚染を抑えること。土地の少ない都市部に3ヶ月の期間に1ヵ月10ドルで借りられるコミュニティガーデンを提供すること等。エリザベス市の小学校2年生のクラス約100人が見学

に来て学んでおり、ここで収穫された1500超の植物・食べ物

が学校に寄付されています。エリザベス市民のための農園に、北見市やピアソン会の活動が紹介されるといふ、まさにピアソン夫妻が蒔いた友好の種がしっかりと実を結び、次の世代に受け継がれていく。ガーデニングを通じた交流事業の成果を実感しました。



ピアソン夫妻の写真で姉妹都市友好農園の紹介

『エリザベス市の多様性を巡る②』



ピアソン夫妻とご縁の深い「シロアムホープ第一長老派教会」を12日に訪問。エリザベス市の歴史や産業振興について伺いました。さらに、この教会の近くに住んでいたピアソン夫妻によってたくさんの人々がこの教会に通うようになったこと。ニュージャージー州



【写真右】ピアソンの母教会を正面から見る。都会の教会ではあるが、この庭にはリスも住んでいる。

【写真上】墓誌にあるピアソン一族の名前。

【写真左】教会の敷地内にあるピアソン一族の一人のお墓。



の創設に貢献した人たちやアフリカ系奴隷約300人の墓碑には、今も追悼の祈りが捧げられている

とのことでした。

今回の訪問で新しい発見がありました。教会の墓誌を確認すると、この墓地には27名のピアソン家一族のお墓があることがわかり、園内を見て回りました。

また信者さんからサプライズとして、ご近所にお住いのクリステイナ・ウイナーさんがアートスクールに通う息子さんの作品をプレゼントしてくださいました。蒼い素地に漢字で「和」と「喜」。まるで書道家の一筆のよう。「北見のピアソン記念館にぜひ飾ってね」とお母さまから託されました。お心遣いに感謝感激のひとつです。



【写真右】

ウイナーさん持参の油絵キャンパスに書かれた「和」と「喜」の文字絵。息子さんは、訪問団が来ると知って一生懸命描いたという。

エリザベス市庁舎での交流写真

【写真下】市議会場で、北見からの訪問団全員と、エリザベス市の市議会関係者及び市の幹部との記念写真。中央に議長席があり、北見市議会飯田議長が席についている。



【写真右】クリスマスチャン・ポルウエッジ、エリザベス市長と歓談する長南会員。



【写真右】3度姉妹都市交流の責任者として北見にきている、クリシュナ・ガリック市保健福祉部長に、ピアソン会からの記念品をお渡しする。



素敵な来館者！

ヴォーリス建築と広岡浅子

大同生命保険の産みの親である広岡浅子は、京都の豪商三井家のお姫様として生まれた。ご承知の通り、浅子は広岡家に嫁ぎ、炭鉱業・加島銀行設立・大同生命創業・日本女子大学設立など、明治期・大正期に、実業家・教育者として生き抜いた「女傑」である。晩年は、御殿場の二の岡の別荘で若い女性を集めた「夏期勉強会」合宿を開く。この合宿には後の政治家市川房枝や「赤毛のアン」翻訳の村岡花子なども参加している。広岡浅子は晩年、宮川恒輝牧師から洗礼を受けた。そして、浅子は1913（大正2）年11月から1917（大正6）年7月まで実施された「全国協同伝道」で、北海道まで講演に來ている。浅子は、1919（大正8）年1月14日に亡くなっている。この日はピアノンの誕生日でもある。



【大同生命保険写真提供】
晩年の広岡浅子

とも所縁ある一柳満喜子（ヴォーリスと結婚）であることを識り、その事もあり1925（大正14）年に大同生命ビル（旧）がヴォーリスによる設計建築物として建てられたと理解したのでした。

以来、広岡浅子の生涯に興味を持ち、限られた資料で勉強をして來ましたが、ピアノン夫妻との具体的な接点を確認することが今日まで出来ていませんでした。

10月3日、大同生命保険代表取締役会長の工藤さんと同社TKC担当事業部長の梶原さんが来館されました。前日、釧路の同社営業部より「会長が訪問するのでよろしくお願います」との連絡があり、お迎えの準備をしていました。

約10年前、NHK朝のドラマで「あさが来た」が放映され、主人公の広岡浅子の一人娘に婿入りした一柳恵三（子爵一柳家の次男）の妹が、ピアノン夫妻

開館後すぐにお二人が来館されたので、館内を約30分ほどの所要時間と予定し、案内していましたが、場面場面での質問やお話や、私からの質問などと、気が付けば1時間半ほど経過してしまいました。帰られる時には、玄関前での記念写真撮影、その写真の会報への掲載も許可いただきました。



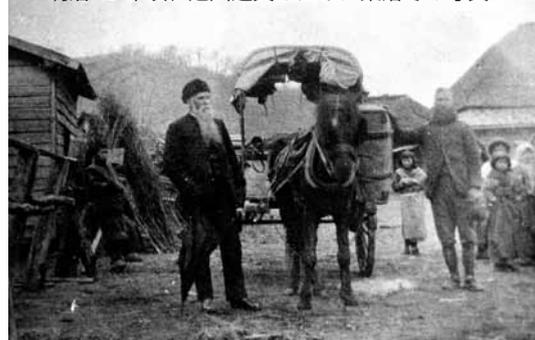
満喜子とヴォーリス 【大同生命保険写真提供】

（伊藤ノ記）

ました。それは1902（明治35）年、朝日生命（本社大阪、現朝日生命とは関係なし）・護国生命（東京）・北海生命（小樽）の三社が合併しての誕生など。後日の11月4日には、大阪から大同生命保険社担当の吉田課長さんもピアノン記念館に訪問をいただき、広岡浅子が「全国協同伝道」で、北海道まで來ていたことなどを教えていただき、今年の冬期間に行う調査研究の楽しい課題提供をいただきました。成果のある調査になればと思っています。

また、浅子は避暑地軽井沢へも度々行っていたことや御殿場での夏期勉強会など、ピアノン夫人との活動領域・年代など、重なり合っている部分も多いことから、今後調査を継続していきたいと思っています。

明治42年頃、旭川近文のアイヌ集落での写真



一枚の写真から

右の写真は、ピアノン夫妻が昭和3年5月にアメリカに帰国後にこのピアノン邸を管理をしていた神原氏が所有していた写真と伝えられており、記録によれば「近文アイヌ集落でのバチエラー氏」と。この写真の右側に立っている外国人男性が誰なのか？11月のピアノン会の理事会で議論となった。「アイヌ学校」（※明治25年から明治37年まで函館にあった）の校長のネットルシップでは？との意見もあったが、各種の資料で検証してみると、ネットルシップではないことは確実、バチエラーの髭の具合や活動記録などからの判断で、記録通り近文のアイヌ集落での写真で間違いはないが、右側の男性が誰なのかはまだ不明。

（S）

幼稚園児による クリスマスツリーの飾り付け

北見でクリスマスツリーを初めて紹介したピアソン邸（記念館）での、幼稚園児自作によるツリーの飾り付けを実施しました。ピアソン会で鉢植えで栽培しているモミの木に、園児たちで楽しんでオーナメントを飾って仕上げました。

【写真右】モミの木を見上げ飾る位置を探す。

【写真下】椅子に乗って、高いところにも飾り付け。



【写真下】ツリーの完成後に、園児と園長先生との記念撮影を。

園児たちが作ったエッグポマンダーを中心に、ピアソンの庭で集められた、松ぼっくりやオニグルミなどを綺麗に着色したオーナメントをモミの木に吊るし、仕上げには、雪を模した白い綿を枝に乗せ、最後に皆でツリーを囲んでクリスマスソングを歌い完成です。



素敵な来館者！

当記念館の音声案内で英語のアナウンスをボランティアで担当していただいた、アリソン親子が来館されました。可愛い娘二人の親になっての来館。英語案内は好評で、多くの来館者が利用しています。またの来館を待っています！



Merry Christmas

今年のピアソン会クリスマスリースです



習教室開催も必要かも!?

講習会のあった11月17日（日）は、春のように暖かい日でした。午前・午後の部合わせて22名（内大人16名と子供6名）の参加で終了しました。今回は、ほとんどの方が初めての参加でした。親子の参加が4組もあり、和気あいあい賑やかな講習会になりました。



クリスマスリース講習会終了！

したので、受講者は豊富な素材を十分に使用し、思い思いのリース作りを楽しんでいました。今年で10回目となる講習会でしたが、年々子供の参加も増えて来ているので、今後は子供対象の講習教室開催も必要かも!?

「ニュージージーランドからの便り」第48回

ピアソン会顧問 グラハム・ハード氏



2024・10・7 (月)

◆メッセージとピアソン会からの親切なお招き、ありがとうございます。お知らせくださった二つの日程については、10月29日・火曜日の方が都合です。10月31日・木曜日は元E S Sとの集いにしたいと思います。

◆こちらは、変わりやすい春の天候がつづいています。菜園を耕し、じゃがいもを植える準備が整っています。土は柔らかく湿度もあり、掘り起すのも簡単です。

◆土曜日に、家族(姪の家族)内の歓迎会をしました。レイチェル(姪)、ノアム、エイモスとアローン。ウエリントンから学校の休暇を利用して来てくれました。昨日は、弟のマーレイが甥たちを博物館のレゴ特別展を見せに連れて行くことになっていました。

2024・10・15 (火)

◆メッセージと31日(木)・コーヒージャップくぼたでの会がアレンジされたこと、ありがとうございます。E S Sの皆さんとお会いするのが楽しみです。旅の支度も最後の仕上げになっています。

◆ホブソンヴィル・ポイントへ、ジュディ(姉)とスタン(義兄)に会いにちよつと行きます。デイヴィッド(甥)がシドニーから両親を訪ねているので、再会にもいい機会です。★いろいろありがとうございます。グラハム・ハード

2024・10・19 (土・朝)

北海道に無事着

◆昨夜予定通り千歳空港に到着し、友人のアパートで、心地よく過ごしています。北海道へ戻れて嬉しいですね。今朝は雨降りですが気温は良い具合です。

◆北見着の時刻、J R 予約が決まりましたお知らせします。北見の友人方にお会いするのを楽しみにしています。

2024・10・21 (月)

北見着時刻

◆ピアソン会夕食会の会場変更お知らせありがとうございます。そちらで皆さんにお会いできるのが楽しみです。こちらの夜は冷え込みましたが、今日は太陽が明るく輝いています。北海道に戻れて楽しく過ごしています。

◆J R の予約、10月28日(月)が決まりました。「たいせつ」1号で15:44北見到着。北見へ戻って皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

2024・11・4 (月)

◆今日午後、北見からの楽しい列車の旅を経て予定通り札幌へ戻りました。北見駅での皆様方のお見送り、ありがとうございます。



この度も皆様方にお会いできて嬉しく思いました。北見ではさまざまに素晴らしい時が持てました。来年もこのように皆さまと楽しく過ごせたら、

と願っています。

◆どうぞ、お元気でありますように。感謝をこめて、
グラハム・ハード

2024・11・28 (木)

◆最近の北見でのニュース、姉妹都市エリザベス訪問団の報告など、嬉しく思います。

◆ここ札幌では変わりやすい天候でしたが、今日は心地よいです。雪景色が楽しく思われ、札幌では楽しく過ごしました。小樽を訪ねるなどして、やはりニュージージーランドへ帰るのが楽しみです。感謝とご多幸を。 グラハム・ハード

【写真上】北見駅で列車に乗るハード氏。【写真下】小樽運河の風景。



編集後記

年の最後に発行する会報は、毎年12月10日発行としています。本来なら、11月30日に発行するのが筋なのですが、8年前からクリスマスツリー設置事業を始め、その様子を会報で紹介することでピアソン会から会員への、メリクリスマス、メッセージとしようということになっています。先日「云報、まだ届かないのですが!」との電話をいただきました。「会報が届くのを楽しみにしている」、ということでしたので、事情を説明いたしました。会報が届くのを楽しみに待っている、ありがとうございます!。ますます頑張らなければなりません。

姉妹都市エリザベス市へ、ピアソン会から代表して長南会員に行っていました。『特別表彰』を受けたとの報告。ピアソン会の各種の事業が、エリザベス市でも大いに評価されていること、の証であると思います。長南会員には、後日正式に報告会を企画しての発表をと考えています。期待してください。

素敵な来館者で紹介しましたが広岡浅子所縁の、大同生命保険の工藤会長が来館されました。楽しく談笑することができました。ピアソン夫妻のお陰で、素晴らしい、人の輪が広がります。『赤煉瓦庁舎』への展示物紹介は次号で報告!

(副理事長兼事務局長) 伊藤 悟

瞳ふあっしょん・瞳けあ

めがねのよっしー

代表 岩井 敏 忠

〒090-0043 北海道北見市北3条西3丁目

携帯. 090-2693-1919 TEL. 0157-57-3664

定休日/毎週木曜日・営業時間/10時~19時